

# もがみがわ 情報局



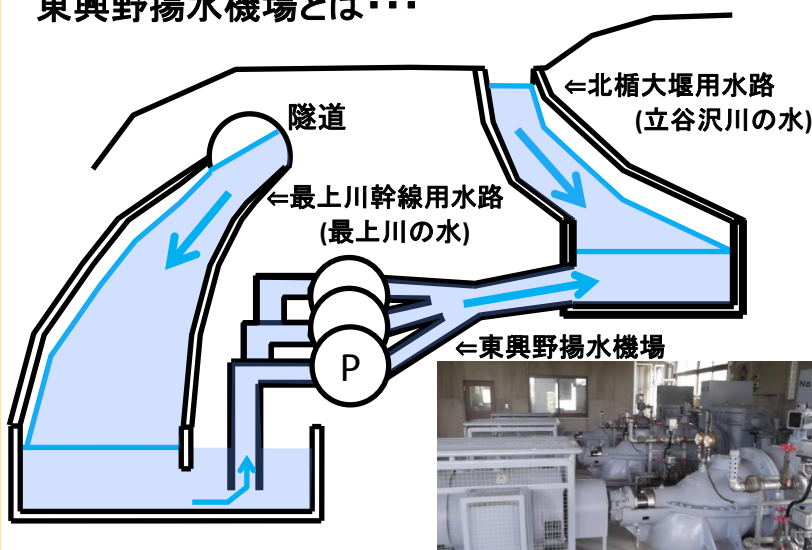
今回は、最上川土地改良区の管内で最も大きな揚水量を持つ、「東興野揚水機場」を紹介します。

左の写真は、すぐ脇の陸羽西線を走るSLとのツーショットです(>.<)！私が施設に向かう際、カメラを持った撮り鉄？の方を多数発見！鉄道ファンではありませんが興奮してしまいました…。

この施設は、平成18年に国営下流沿岸事業により造成され、現在は県管理の元、最上川土地改良区で操作管理を県より委託されています。

ポンプが3台あり、MAX3.2m<sup>3</sup>/secの水を送ることができます。学校のプールは約1分半でいっぱいになります！！

## 東興野揚水機場とは…



高いところを流れる北楯大堰は、立谷沢川の雪解け水のため冷たく、最上川の温かい水を混ぜることで、水稻に適した水温に調整します。

毎年5月初旬から9月中旬まで稼働し、H26年度は3台合計で約3,300時間、1,200万m<sup>3</sup>(東京ドーム10杯分)の水を送水しました。

毎年、用水期間の終了する9月中旬に揚水機の開放点検を行って、来年度に向けて整備を実施しています。点検結果では大きな問題なく、来年も頑張ってくれそうです。まずは、今年の業務、御苦労さまでした！！

